

「ニッケル水素電池の高容量化と長寿命化」で、第7回「ひょうごSPring-8賞」を受賞

兵庫県公館で佐用町の世界最高性能の大型放射光施設「SPring-8(スプリング・エイト)」を利用して、優れた成果をあげた研究に贈られる「ひょうごSPring-8賞」の表彰式があり、株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション 研究開発センター リーダーの尾崎哲也が2010年2月5日、第7回「ひょうごSPring-8賞」を受賞しました。

受賞テーマは「ニッケル水素電池の高容量化と長寿命化」で、尾崎は施設の高輝度X線を用いて、電池性能に優れた結晶の並び方や劣化につながる原因を解明し、合金化や元素置換によって、世界初の「ポリタイプ積層水素吸蔵合金」を開発しました。その技術を適用して市販化された円筒形ニッケル水素電池「eNi TIME(エニタイム)」の容量は、従来のものよりも20%上回り、さらに、自己放電性能の大幅な改良に成功しました。この電池は、従来のアルカリ乾電池が使われている機器に幅広く活用されるなど、大きな経済効果が期待される点が評価されました。



第7回「ひょうごSPring-8賞」の表彰式の模様



円筒形ニッケル水素電池「eNi TIME」